

軽米町百人委員会平成 28 年度第 1 回はつらつ子育て部会議事録

○開催日時：平成 28 年 5 月 30 日（月）午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 1 0 分

○開催場所：軽米町役場庁舎 3 階会議室

○出席者

委員：14 人中 6 人出席（宮本友利、山野下誠、村井浩和、鶴飼久子、工藤節子、上岩恵美子）

事務局：健康福祉課 於本、坂下、加藤

教育委員会事務局 佐々木

総務課 日山 吉岡 梅木 小笠原 川原

○開会

（健康福祉課長）それでは、ちょっと定刻より早いんですが、平成 28 年度第 1 回軽米町百人委員会はつらつ子育て部会の会議を開会させていただきます。私、健康福祉課の於本でございます。百人委員会は初めてです。どうぞよろしくお願ひします。続きまして部会長様よりご挨拶をいただきます。

○部会長あいさつ

（部会長）お忙しいところを先決私の都合でもありました関係もあつたかもしれませんが、本当に皆様にはご迷惑を掛けておりますが、人数も少ないようでございますけれども事務局さんからご援助をいただきながら二つ議事を進めさせていただきたいとそのように思っております。先達て代表者会議での 4 月 27 日にあたります。そのところは副部会長さんに出席させていただきましたのでそこらへんの内容のところは副部会長さんをお願いしたいと思っております。少ない人数ではありますがどうぞよろしくお願ひします。

（於本健康福祉課長）それでは、次第にはないんですが山下副部会長さんも一言お願いしたいんですが、代表者会議のも含めまして。

（副部会長）すいません。着座のままでお話させていただきます。代表者会議のほうですけれども、どういう内容を話したかと言いますと百人委員会は 5 部会に分かれていまして、まずそのなかの会長さんが集まってお話しした中で今年度どのような体制で進めていくのかということで、どの委員会もわりと共通した意見で範囲が多岐にわたるために、提言を一つ二つでまとめるというのは中々まとめきれないというのがまず、各部会さんのお話でありまして、私のなかでおそらくそういうのはどの部会でもあるんでし

ようからテーマをきちっと決めて進めていけばいいのではないのでしょうかと一言申し上げました。それとあと、昨年の全体会のときに意見が出たと思いますが、講師を呼んでの講習会とか百人委員会を他の地区でどういう形でやっているのか、その講習会等の検討はどういう話ですかという議題になりまして、そちらのほうも各部会でバラバラで進めていくのか百人委員会で1回講師を呼んで全員で聴いてというような形で進めていくのか、事務局側のほうに聞きましたらば、その際にはまず、できれば1回のほうが日程を調整するにもいいのではないかというはなしで、であればその委員会、百人委員会のような講習会、交流会を聴いた後に第1回目の部会を開く、日程の確保を複雑にしないほうがいいのではないかという提言をさせていただきました。議事録に関しては、資料のほうにもありますけども資料をご覧になっていただければと思います。代表者会議の内容としてはそんな感じでした。

(於本健康福祉課長) ありがとうございます。それでは、部会長さん、議事のほうに、議事録2番の議事のほう部会長さんのほうに進行をお願いします。

○議事

(1) 今年度の部会の協議事項の決定について

(部会長) それでは、2議事に入らせていただきます。(1) 今年度の部会の協議事項の決定についてとございますが、事務局。

(坂下主幹) まず、議事の1番ですが協議事項がありますが、皆さんで2回ほど部会を開いたわけですがそのなかで思ったこと、こういうことをテーマにて話し合いたいというのがあれば、それらをテーマにしていけばいいのではないかと思っています。この間の代表者会議のなかでは、事務局のほうから提案してもらったほうがいいのではないかという発言もあったんですが、まずそのへんは皆さんで、協議していただければいいのかなというふうに思います。それでまず、今年度のスケジュール的なものもここでちょっとお知らせしたいんですが、4月の下旬に代表者会議をやりまして、5月の下旬に第1回、今回の部会になりますが行って、先ほど副部会長さんからもありました研修会をやって、第2回の部会はその後にやったほうがいいのかという意見もあったし、そのことについても今日、協議の中で決めてもらえばいいのかなというふうに思います。第2回目は今日決めたテーマに沿ってその方法とかも今日決めてもらって、第3部会のなかで提言まで取りまとめるとうことです。第3部会の部会は10月下旬から11月上旬にやってその提言を来年の予算の中に反映させていきたいというふうな考

えがありますので、第3部会を11月の中旬までに終わらせて、あとは事務局のほうで予算編成の前までに取りまとめるという形で今年は進めていくということなので、今回についてはみなさんで、提言に持っていくようなテーマを決めていただくということと第2回目の部会の進行の仕方、この間はグループワークとかもいいのではないかと意見もあったので、そういうグループワーク制にするか、全体で意見を出し合う方法がいいのか、今回そういうところを決めてもらうということになりますので、もし、皆さんからこういうテーマでやりましょうというのがあれば、それを出してもらえば今日のところはいいのかなと思います。もし、なければ用意したのは一応あるんですけども、どうしますか。

(部会長) グループワークといってもまだ人数的にあれだとグループワークにならない。

(坂下主幹) つぎは、なるべく余裕を持って案内をしたい、今回は急すぎて仕事を休めないという人とかもいたので、今回決めてもらえばそれに合わせて案内を先に出してもいいのかなと思います。

(部会長) みなさんは、どういうふうな提案を希望いたしますか。グループワーク的か、グループワークか、全員で話し合いと事務局さんから提案をいただき。

(副部会長) 若干、補足をいいですか。今の事務局の説明であれでしたけど、グループワークとかと役場さんからの方からの提言という話が出ていましたが、本々の百人委員会の発足の理由は、町民が行政に対して何を求めているのか行政側が聞きたくて行っているものなんですね。それに対してこちらで意見が出ませんから行政さんが出してくださいというのは本来、本末転倒な話であって、多分行政側としては皆さんで話し合った中でどういうふうな話をしてどう進めていこうかという、例えば今まで百人委員会で話してきたなかで私のなかで大きく分けると、まず、生まれてから小学校入るまでの過程が一つと小学校・中学校・高校入っての学校教育での過程の問題と、その以前に子どもが生まれる、結婚するのというのはなしの三つかなという柱がある気がするんですね、そのなかで皆さんでそれをどういうふうにしようかというのを決めてそれから進んでくのか、それともそれをワークグループという形で今日はちょっと人数少ないですけど、三つないし四つのテーブルに分かれてそのなかで突き詰めていってそれを発表してもらって、まず柱なら柱でもいいですし、まとめられる形ならまとめられる形の提言を、というのを多分役場さんの方は欲していると思うので、意見が出ませんでした行政側から出してくださいというのもちょっとあれなのでどちらかというとそちらの線で考えたみたほうがいいのかなと思います。

ますけども。ちょっと補足というわけではないですけど、そういうふうな路線で進めていくのがこの委員会の事業の一つだと思うので、そういう心意気で皆さんお話していただきたいなと思います。

(於本健康福祉課長) 副部長さんが言うのと同じやつですね。おそらく、坂下主幹が出ていましたので、何か資料を作つとかなないと取っ掛かりがなく、またあまり広くなった格好になるのではということ。そんなに細かいことは書いてないですけど、今言った大きく二つ三つに分けたような格好になっています。

(坂下主幹) 今配付した資料ですが、今、副部長さんの方から幼稚園から小学校に入る前までと高校なりその後と、あとは結婚というお話の三つあればいいのかなということだったんですが、私の方で考えたのは生まれてから巣立つ、幼稚園・小学校・高校くらいと、卒業してからの軽米に残って結婚するまでとその二つのテーマをまず提案させてもらう。今まで出た意見のなかをまとめるとその二つでもいいのかなというふうに考えられたので、育てるやつと結婚するまででサイクルが回るというふうなことで考えていいのかなという、この紙はその提案です。そのやり方も続けてやりますが、その今の子育てに関することの課題、現状そういったものを皆さんから持ってきて、今日の宿題にして次までにそういうのをたくさん出してもらって課題とか現状とか分かればそれに向けた解決策とか提言ができるのではないかなというふうに考えますので、そういったものを次の部会までに持ち寄れるようなことにできればいいのかなというふうには思います。裏には、イラスト的なもので書いてありますが、大きなテーマとして二つの今までの部会のなかで出たのを基に作ってみたのはこれになります。行政的に課題というのはあるとすれば保育園の方であったり、保育園の民営化。あとは、病後児の保育ができないとか一次預かりができない、あとは児童クラブも軽米にしかなくて晴山から軽米、小軽米から軽米に来ているから地元にも欲しいというふうな課題もみえてはいますけどそれらも含めて、皆さんでまた課題を出し合っていけば、提言するようなものがみえてくるのではないかなというふうに考えますが、どうでしょうか。

(吉岡主幹) 総務課の吉岡と言います。すいません。テーマ設定に向けて話が進みつつあるなかで情報提供と言いますかお願いというふうに、先ほど副部長さんのほうから子育て部会のテーマとして、結婚までのこと、就学前、就学後大きく分けるとその三分野という方向になるんじゃないということなんですけど、ただいまお渡ししてました資料については、その最初の出会いとか結婚そういった、部分の資料になります。資料、赤いほうの一枚ものが、長野県の飯山市で制度を作成した仲人制度に関する仲

人募集の要項になります。少し厚手のものは先達て岩手銀行の方で地方創生セミナーがあって、その中の講義の一つに仲人制度とはまた違って、例えば去年まで商工青年部さんの方で中心にやっていた街コンというようなものがありますが、エリアを町の中にこだわらない、例えば、出会う場所の設定も軽米だけではなくて仙台とか他所の街に行きながら出会いの場の創出、そういうふうなやり方もある。結婚までつながったかどうかというまでは資料はないんですが、その出会いの場を創出した結果のカップリングは40数パーセントと割と高い数値。実はなぜこれを申し上げたかと言いますと、昨年策定した総合戦略のなかに、総合戦略の一つとして仲人支援制度の創設とございます。我々もどういうふうな制度がいいのかなということで、色々悩んでいるところでして、できればテーマ設定まではいかなくてもこの百人委員会の子育て部会の皆様から例えば、こういうふうなやり方とまとめていただく必要はないですけど何かご意見をいただければいいのかなと思います。飯山市方式のものに加えてこういうことも考えてみたらどうかということもございましょうし、例えば、軽米だけでなくて八戸、盛岡に行ってそういった場を創出してみてはどうか、とご意見もあると思います。とくに今日意見をくださいということではなくて、また次回の部会のこれを見ながら軽米の状況をふまえたときにどうなんだろうとお考えいただいて次回以降、意見をいただければなというふうなことで情報提供申し上げた次第でございます。よろしくお願ひします。

(部会長) その仲人創生なんだかというのを行政で作ったというか、その決めるというかそれをするというような方向でそのことを出したのですか。

(吉岡主幹) 総合戦略の計画の中で仲人支援制度の創設を一つのまず戦略というものに入れていたわけですね。

(部会長) そして、これから具体的にどのような支援をするというのは出たのですか。

(吉岡主幹) まだこれからになるんですよ。そこで、うちのほうで検討していく方向性の参考にさせていただきたいのでこういうふうなことがあるのではないかと様々な意見をお聞かせいただければと。

(部会長) いろんなことが出てもどういうふうにやっていくのかとか、こうしていきますというのはなかなかでない。行政から。

(委員1) もう何年にも、うちのおじいちゃんがやっていた時にそういうようなのがあったと思いますけど、それを亡くなってからもう何年間にもなると思うんですが、やっぱりそういう人たちが集まってやった例が役場からなのでやっていたみたいですがそこらへんの資料は。

(於本健康福祉課長) 農業委員会のほうでやっていました。

(委員1) 何のほうかは分からないんですけど、そういうふうなのがあってやっていたみたいなんですけど、そのあたりは何ぼかカップルも作ってきたりしていたみたいなんですけど。

(部会長) 昔は、ここにも書いているけど力付けでおせっかいといわれる形で好きな方が、仲人そういうふうなのを、昔はあったからけっこう結婚しました。今の時代は中々そういうふうな人も、仲人する人もいない。

(委員1) 中舘さんとか、中道さんとか。けっこうあっちこっちで話を聴いてきてまとめていた。

(於本健康福祉課長) 農業委員会の方に結婚相談員をお願いして、なんぼかまとまったのはあったと思うんですけどね。

(部会長) こういうふうな議論もあるというところで、今、この子育て部会の方のこれをいただきましたが、その二重丸のところテーマにして進めていくという、皆さんどうですか。

(各委員) いいと思います。

(部会長) これに沿って、宿題といってもこの人数では。次の宿題は困ったね。

(委員2) 時間がなさそうなので、今いる人数で課題を出せば課題の現状を認知する。

(坂下主幹) 課題や現状を出し合うのは次でもいいのかなと思うので、次の部会までに皆さんで今日来ない人にもそういうお願いをしておいてテーマも二つ、安心して子育てのできる環境というのと、結婚して住み続けられる環境というか結婚までいたるような環境づくりの、その二つテーマの二つでいいのかな。

(委員2) すいません。さっき副部長さんがおしゃっていたのとタイアップしていくと、安心して子育てというので生まれて育てていく、家族がはぐくんでいくこの時間の部分だと思います。そこで現状や課題が去年もたくさん出ていたと思うので、それがまず大きな柱の一つになると思いました。あとは今度自分たちが大人になって逆な立場になったときの部分ですね、結婚しても住み続けられる環境というのが卒業して仕事を持って、その後家族を持つというその部分になっていくと思うので二つの柱としてやっていいのかなと思います。

(部会長) ありがとうございます。昨年度からやって、はつらつ子育てというのを第1回目からやったわけですが、皆さんにこの平成27年輕米町百人委員会意見提言等と回答というのがいっていますよね。それをみれば大変はつらつ子育ての方でここらへんが当てはまるくらい、いっぱい出ているんですよね。それをA B C D E Fまでの間にどのようなことをしたかという会議復文というのがあるんですけど、そのところで、まず答えというか当

てはまるどころが番号を書いているんですけども、これをみればいっぱい
いっぱいであるんだよね。今度はこれを絞って。

(副部会長) 今、このページについているのをバラバラにしますと、これがど
っちに当てはまるかと分けながらそれをやるのが次回の作業になると思う
ので、それをできた段階で二本の柱というのをつかって、それに対して今
まで出たのをとりまとめて最後の段階で提言という形で。自分たちのこれ
を除きます、こちらは知らなかった、様々やり取りできればいいのかな。
提言としても、もう出てるいので何回話をしても同じようなものが出てく
ると思うので。

(部会長) これをもう一回、皆してちゃんと読んでどっちに当てはまるかやっ
てそれを絞って、安心して子育てできる環境の柱から学生までをバラバラ
にしてどっちに当てはまるかとやって、それに沿ってそのなかで詰めてい
けばと思うんですけど。いかがですか。

(副部会長) 次ぎやる時人数が何人か分からないですけど、二つの柱で同じ全
員で話しながらか、2グループに分けてその人数、人数で話を詰めていっ
たほうがいいのか。どちらの方が話しがしやすいか、まとめやすいか、会
議は人数が多ければ成立するというものでもないの。

(委員2) 半分に分かれてそれぞれこういうふうにでましたと、発表してお互
いこれもあったほうがいいんじゃないの、こうじゃないのというふうにや
っていくといいような気がします。

(部会長) どっちにふり分けるかとなると。

(副部会長) 当日になるのでは。

(坂下主幹) 私が考えていたのは、課題とか現状とか皆さんから出して、今日
の宿題にしてもらって次集まったとき、皆から出してもらってそれを分析
なり提言まで持っていくようなものを半分半分で相談しながらやってもら
えばいいのかなと思っただけなんですけど。これが今までの部会で出た分
だからそれ以外でも、もっともって考えれば。これはいいところもついて
なかったかもしれないですけ、軽米のいいところも、もっともってあれば。
情報発信が足りないという意見もあったのでいいところも出しながら、悪
いところも出しながらやっていけばいいのかな。それ以外にもあれば、い
っぱいだしてもらえば、課題とかがあればあるほど提言にもっていきやす
いのかなと思っただけ。ちっちゃいことから大きいことまで何でも出して
いけば、それなりにまた考えてみる余地ができるのではと。

(於本健康福祉課長) 第1回の部会と第2回の部会の参加者をみると10名なん
ですよ。二つに分ける5人でやるような。

(坂下主幹) 全部で14人。ちょっと少ないので。

- (委員1) 1回も出ない人もいます。その中身が分からない。
- (部会長) この部会もちゃんと自分で手を挙げて、ちゃんと参加してくれる人はね、色々な意見もあって。公募が公募でなくなったような状態があるからね。自分があんまり部会に行ったか行かないかもあるかもしれないし。
- (坂下主幹) 保育の方からでたのは、代表者代わっているのでこっちも代わってほしいというのが今回あってですね。
- (委員1) 毎年、父母の会が保育園は代わるので、この人たちは去年まで父母の会の会長さんをやった方で、中里さんとか、だから自分たちはもう終わったから違う人が会長だからそっちにと、そういうような考えがあるんじゃないかな。
- (部会長) かもしれない。結局自分が公募でやったわけではないから。私は、今の立場で出席させていただいていると思っても、自分の役目が終わったからもう行かなくてもいいという人もあるかもしれない。だからそういう人たちをどうやって調べるといっても。
- (委員3) 幼稚園、小学校、保育園、PTA会長、たぶん全員代わっていると思う。
- (於本健康福祉課長) でもそれは、任期は2年ということで「引き受けますか」ということで皆「はい、やります」ということで委員さんになっていると思いますので。
- (部会長) そうすれば、そういうようなことも言わなければ来ないのでは。
- (於本健康福祉課長) ですから出席お願いしますということでやっていますが。
- (委員3) 頭では分かっていると思うけど、あくまで分かったうえで、ほらかいたと思ってしまう人。現PTA会長なり、外部の方なり、例えば任意を譲るとか代理出席をしてもらうみたいな、ちょっと融通が利く制度があれば。
- (副部会長) 1年任期であれば、2年任期の仕事もあてがえば、その会長さんは次の人に引き継がなければならないと思う。その辺のサポートはやってないですよ、そちらでは。2年なら2年やってくださいと、一方的な言い方といえば。
- (於本健康福祉課長) でも、都合悪くなって、当然辞任される場合もあるわけですし。
- (副部会長) 百人委員会やってくれと言われてきたら初めて2年任期だと知って、私1年だけと言った人もいる、実際。次の人にうつしたらいいでしょといったらそれもなあといいいながら。そういうところのフォローは必要だと思う。1年の任期しかない人に2年の任期のものをやるということは、その次は引き継いでくださいというのをちゃんと役場さんの方から言って

おかないとこういう問題が起きる。私も当然1年の任期で区切ってますけども、たまたま2年任期なので、問題はないんですけど。ほとんどの大半は1年で代わっている。2年任期の仕事になられるようなのがあれば、ましてはちゃんと報酬が出るような仕事なので、役場さんがちゃんと2年の任期だよと分かりながら、2年やれないのであれば1年ごとでもいいのでちゃんと代わってくださいよと伝えていかないとだめだと思う。

(日山総務課長) ごもつともなご意見だと思います。審議会というのはだいたい2年の任期になっていてこれまでのパターンは宛職でお願いしている方々については、当然代表の方が代われれば委員の方も代わるというスタイルをとっていたんですが、百人委員会というのは宛職ではあるけど、その人をお願いしているという頭が実はすごくあるんです。ただ今日、お話を聴いてやはりそういうふうな問題はどうしてもあるんだろうなということはその通りだと思いますので、今の委員さんになっている方々にも意向を確認しながら後任、次の役をやっている方になるべくお願いしていただきという形でも。部会の構成が変わってしまうので、去年一生懸命ご意見を交わしていただいてまとめてもらっているんですが、そこから外れた方が入ってくるということで新しいご意見もあるかもしれませんが、もしそれでも部会が大丈夫だということであればそのようなスタイルをとらせていただきたいなと思います。大丈夫ですよ。

(於本健康福祉課長) 人が減るよりはね。

(副部長) 2年で、1年しかこないからね。人数少なくなりましたからこの人数でやりましょうということではないので。いくら個人に頼んでいると言っても、その当時の会の代表の人たちだから、その意見はあると思うので次の世代にというのは必ず必要だと思うのでお願いしたいです。おそらく子ども部会だけではないですか。こういう話になりやすいのは、1年ごとに代わっていきやすいのは、他の課だったら、2年だったり3年だったり、あとは定年がないとか。

(委員3) 意見の数が、必要な意見が欲しいというのに対して、代わったほうが親10人集まれば10人全員違う意見、違う視点を持っていると思うので。住んでいる地区が変わるだけでも全然理解が変わってくると思うので。

(部長) 次に代わったとしても大体このテーマに合わせていけばいいのだから、流れ、意見の出し方はあれに沿って出してもらえば。

(日山総務課長) あんまりしゃべらないつもりでいたけど、しゃべらせていただければ、実は去年出していただいた保育園に対して役場の回答を載せています。これは、あくまでも役場の考え方で回答したものです。これは違うだろうという委員の皆さんがいて当然だと思うんですね。こういうやり方

をしたらできるのではないか、そういうふうなご意見もこれを先に進めていく一つの方法に、ご意見になるのかなと思っていました。Aというのが積極的にやりますよということで実施されているものも含めて。問題は当面は実現できないものDですね、Cの実現に努めているものもこんなことをやらなくてもちゃんとできるのではないのかというご意見があれば、そういうふうなご意見をいただければもっと行政は前に進むのかなと思います。私たちにすれば非常につらいことではあるのですが、そこを進めては行かないと行政は中々前に進まないのかなという気もしますので、こちら辺は読んでいただいて去年やった事を無駄にしないように、後ろ戻りしないような形で参考にしてご意見をいただければいいのかなと思います。

(部会長) やって欲しいからこの意見があるので、全部というかここに書いてあるようなことは実現して欲しいなと思うから皆さんから出たので、やっぱりこの判定を見るとうーんと思いますよね。ただ、そういうふうなところも次回に分けてやって話し合いをしていけばいいのかなと。

(日山総務課長) 具体的にこれをやるためにこれをやってはどうかというご意見をいただければ私たちも政策にあげやすいものですから。一生懸命、前向きに各課ではこの回答を書いているんですけど、ようは自分の頭のなかでこれだったらできるかなという判断なんです。ですから、この方法をとればもっとできるよっていうご意見があればそれを教えていただければ逆に大変助かるのかなと思います。

(委員3) 今時点で、言えるようなことがあればしゃべっていいのかなと思うんですけど。どうでしょう。それは議事からはずれませんが、課題とか現状とか、現時点について

(部会長) これ、一つずつね。判定に対して。

(委員3) 判定に対してなり、それぞれに対して。

(部会長) 本当はこういうふうなことがあればこうふうにして欲しいということで皆さんからのご意見が出た。それをまた、一つずつやっていれば時間もあるし。

(委員3) ひとついいですか。私前にしゃべった内容で、個々の意見提言等のところに書いて欲しかったのですが反映区分は別として、書いて欲しかった項目があるんですが幼稚園の教職員、各クラスに正職員を1人配置して欲しいというのを言いました。それをちょっと意見提言等の項目に一つ付け加えて次回会議なり検討できるようにしておいてもらえればと思います。お願いします。

(部会長) その部分も付け加えてもらって。次回は、できれば全員来ていただいて第2回は二つのテーマに絞って、その時に全体を皆ですというので

はなく、二つに分かれてやれば、不足を補ったりという方法でよろしいですか。いいですか、1番はそれで。いいですよ。

(2) 第2回部会の進め方と開催日時について

(部会長) 第2回部会の進め方と開催日時についていうのも、もう終わったように思われますが。

(坂下主幹) ただ、研修会はどうやるという提案もあったけど、部会をどうするかというのは。研修会はずっと詳細は決まっていなかったけど、やることは全体の研修会としてやると思います。それには皆さん参加してほしいですけど部会は部会として、研修会は終わってからまた違う日にやるとか、その日の午後、研修会も何時になるか決まっていなくて。この時期というのはこの時期にやらないとあれだと思ってしまうので、研修会と同時の日にちがいいのか別の日の。例えば今日はお昼だけでも、今度はやっぱり夜のほうがいいのであればまた夜にやってみようという、そのへんです。

(部会長) では、皆さん研修会と第2回部会を一緒の方がいいのか、研修会は研修会で、第2回部会は改めてやるか。この研修会というのはいつやるのか分からないです。

(副部会長) 分からないし、個々の部会の話ではなくて百人委員会の仕方というイメージです。どういう感じの部会をやるか。役に立たないわけではないですけど直接のものではないです。それとは別に、部会でどこか見てまわったりという研修の予算としてはとれますよみたいな話でした。

(部会長) どこで。

(副部会長) 知らないですよ。それは。

(日山総務課長) 研修会自体は、できるだけ集まってほしいので日曜日を考えています。

(部会長) 日曜日。8月、9月の日曜日かい。8月はお盆だしな。

(日山総務課長) 逆に平日のほうがいいでしょうか。皆さんそれぞれ事情が違うだろうから。

(委員3) 皆さん、研修会はこの部会以外の部会も含めて。であれば、アンケートをとれば。より多くの人数の参加を希望するのであれば面倒でもアンケートをとったほうがいいのではと思いますけど。

(副部会長) 部会としては平日がいいのか休日がいいのか夜がいいのか昼がいいのかを出して、あとは講師の先生の都合もあるだろうし。

(日山総務課長) 私たちが考えたのは、皆さんお忙しいでしょうから8月の下旬の時期に2日集まってもらうよりは研修会をやった後に部会を開いてもらうと半日なりの範囲で収められるから、その方が皆さん都合がいいので

はないかなと考えたんですけども。多分短い期間で2回も集まるのは大変なのかなという。じゃあ、その開催の土日とかの日時については皆さんからご意見をアンケートなりで出してもらおう形にします。

(副部会長) 多分まとまらないと思います。部会を出してもらって、その中で一番都合のいい日で。

(部会長) はつらつ部会は、昼がいいか土日でもいいか、研修会が終わって部会を開くのは。

(副部会長) 研修会をして部会を開くのなら夜、研修会は基本的にだめだね。

(日山総務課長) 部会をやった後に研修会という方法もあると思います。いずれ、同じ日の中に収める。

(部会長) せっかく研修を受けてどのようなあれを、というのであれば。

(副部会長) 3回目もありますので。

(部会長) どうします。はつらつ部会さんは。

(副部会長) 土日しか選択肢がないような気がしますけど。午後とかさっき言ったように夕方早い時間に集まって順番がありますけど。

(委員3) 8月は、ほぼ埋まっているので、土日。

(部会長) 行政では下旬。

(日山総務課長) お盆が終わって秋祭り、実は役場は9月の定例会があるのでその間かなという形なんですけど。

(副部会長) 9月の方がいい。8月は、ほぼほぼ何か入っているので。

(委員2) 9月も中旬になるとお祭りもあるし、中学校とかも

(部会長) まず、時期としては、はつらつ子育て部会は9月の上旬。希望

(副部会長) 9月の3日、4日くらいしか。

(日山総務課長) 実際のところこのへんがいいところかもしれないです。

(副部会長) 8月はやっぱり、なんとなく。

(日山総務課長) 学校の夏休みって。

(委員3) 18日が軽米小学校ですね。

(部会長) お盆が過ぎると始まる。

(委員2) 始まると中学校は大会とかで土日は。

(日山総務課長) 9月3日、4日希望という形でよろしいですか。

(委員3) その際は、お昼もしょうがない。

(委員2) 早めに分かれば、そこを空けるので。

(日山総務課長) 今週中に全部の部会が1回終わりますので、早く動いて。

(部会長) では、その希望で。9月3日、4日の土日を研修会にして、その後は予定によって。ということでもいいですか。お願いします。

(坂下主幹) 子育て部会は、研修会の日に2回目をやりますか。

(部会長) そうだね。だって2回も3回も出てこれないし。

(坂下主幹) では、同日ということで。

(副部会長) できれば、同日で。研修会と。

(部会長) いいですか。ではそのようにお願いします。研修会とはつらつ子育て部会を9月3日、4日希望でよろしくお願いします。時間は研修会によってですけども、そのようにお願いします。

(3) その他

(部会長) (3) その他。皆さん何かありませんか。とにかく委員が集まらないことには、何にもならないということが一番でございます。

(於本健康福祉課長) グループ分けは、その研修会のときで大丈夫ですか。メンバーみて。

(部会長) 大丈夫にするようにします。だって来ないんだもの、今日。3のその他。

(日山総務課長) 全体会に出た方は、副部会長さんからお話がありましたけど実は全体会のときに町長から出てもらえないかのご意見があったんですけど。それに関しては代表者会議のなかで話し合いました、町長のスケジュールに合わせて部会日程を組むというのが非常に難しいというのが1点です。この時期にやりたいと言っても町長の日程に合わないというのがある。もう一つ、町長が出てくると町長に対して質問をした場合、町長が答えなければならぬという気持ちになりますよね。それでそういうふうなやり取りだけになってしまうと部会としての雰囲気はちょっとうまくないので、というのもあるので代表者会議の中では町長のスケジュールに合わせてたりするのもなんだからざっくばらんに意見交換をするためには町長の出席はなくてもいいんじゃないかというご意見が大層でした。

(部会長) 代表者というのは。部会長と副部会長ということ。

(日山総務課長) はい。その中で話をしたときに町長が部会に出なくてもいいのではないかというご意見が大層でした。それで、全体会には当然出てもらいますけど部会には町長は原則出席しないということにしたいと思っていました。それから、もう1点。部会の傍聴の話があったんです。他の部会がその他の部会にきて意見を聴きたいというのもあったんですが、それも自由発言にどうしても影響するだろうということで、その他の部会の傍聴は原則認めないという形で代表者会議の中では決定になりました。そこは、ご理解をお願いしたいなと思います。

(部会長) それは、賛成です。会議が進まなくなると思うので。というようなことでございます。

(於本健康福祉課長) どうします。総務課のほうで説明します。いいですか。

(日山総務課長) これに関しては見ていただいて、次回のときにこれに対するご意見をそれこそ、村井さんからのハシャベりたくていたようですが。皆さんからぜひ一言ずつ部会のほう発言いただきたいのでこれに関してご意見を、これに関してでもいいですし、それこそグループ分けして、そのグループの中でこの部分はこうしたらいいのではないかというご意見いただければいいのかなと思います。

(於本健康福祉課長) あと、そうすると事務局のほうは教育委員会は何かないですか。

(事務局) はい。

(於本健康福祉課長) では、ないということで。よろしいですか。それではありがとうございました。1時間にわたりました。まず、今後の第2回目の部会にむけましてその進め方と一応開催日時の希望も取りまとめていただきましたので次回の議論に期待いたしたいと思います。本日は、どうも本当にありがとうございました。お疲れ様でした。これをもって第1回目のはつらつ子育て部会を閉じさせてもらいます。お疲れ様でした。